

今、やらなければ
ならないこと。



長岡市議会議員
関たかし

無党派
無会派

せきたか通信／号外

最近「心の正しい物差し」を持っていない大人の報道を目にします。自分の激しい感情を暴走させて多くの人に迷惑を掛けてしまう煽り運転など。しかし、彼らは彼らの正義で行動しています。歪んでいる物差しでは正しさがわからないのです。

正しい物差しで測れば、不正は不正だとしっかり言える、それはどの世界でも同じです。実は長岡市議会で「関たかし」が政務活動費の残額を初めて返却したとき、先輩議員から「来年からは残すなよ」と指導されたそうです。政務活動費の財源は血税なので、「大事に使って余ったら返すのが当たり前」と思うのは一般社会では常識です。その当たりの事が出来ていなかったというのは議員の怠慢だったのではないのでしょうか。

今日まで正しい生きざまを貫き通している「関たかし」を私は頼もしく思っています。そして「関たかし」の事を多くの人に理解して頂きたいのです。どうか、皆様の友人・知人をご紹介ください。事務所に連絡頂ければ、その方々に本パンフレットをお届けいたします。

後援会長 多川 政人

関たかし プロフィール

- 昭和 41 年 長岡市信濃 2 丁目に生まれる
- 昭和 54 年 長岡市立中島小学校卒業
- 昭和 57 年 長岡市立東中学校卒業
- 昭和 60 年 新潟県立長岡高等学校卒業
- 平成 元 年 滋賀大学経済学部卒業
日立化成工業(株) 入社
- 平成 3 年 衆議院議員秘書
- 平成 9 年 高野不動産(株) 入社
- 平成 11 年 同社退職

平成 11 年 長岡市議会議員初当選
平成 31 年 1 月現在 五期目

家族構成：父、妻、長女、長男
趣味：バドミントン、釣り

私が無会派・無党派を貫いている理由

長岡市議会には会派といういくつかの議員グループが存在しますが、私は初当選からどのグループにも属していません。また、どの政党にも属していません。それは、党利党略や派閥の論理で行動するのではなく、草の根・市民派の議員として行動するためです。

関たかし後援会
TEL/FAX 32-0756

<http://www.sekitaka.net/>
自宅 : 長岡市信濃 2-10-43
事務所(臨時): 長岡市日赤町 2 ウオロク向かい

※ご入会いただいた方には活動報告書「せきたか通信」を年1回お届けいたします。



持続可能な社会の実現 ～広げよう 長岡から～

社会の転換点

20年前、持続可能な社会の成功事例を長岡から発信したいとの志を持って立候補しました。特に持続性を懸念した4分野に取り組むことを公約し、今日に至っています。4分野のうち原発を含む環境問題は危機的状況。心や価値観の問題も偽装・隠蔽・ハラスメント等が頻発し、転換が必要な状況。財政や経済といったお金の分野も今後の見通しは明るくはありません。そんな中で一層重い責任を背負う政治に対しても、市民の信頼や期待が寄せられているとは言えない状態です。それに加えて少子高齢化も進行し、生きづらく将来が不安な社会となってしまいました。

我々は従来の発想や価値観から脱して、新しい社会の構築を始めなければなりません。困難な作業で勇気が必要ですが、子や孫のためにも共に手を携えて取り組みましょう。

一人ひとりが幸せを感じられる 心ゆたかな社会を目指して。

先の見えない現代社会の根本を変革

新しい社会を構築していくために必要な「価値観の転換」とは?

今までの価値観

あわただしい
経済中心
成長
争い
モノお金の豊かさ
画一性
お金による人間関係
他人との比較



新しい価値観への転換

新しい価値観

穏やか
人間中心
安定・持続性
助け合い
心の豊かさ
多様性
絆・思いやり
自分らしさ

長岡だからできる! 新しい価値観のまちづくり

新しい価値観に脱皮するためには自分自身と向き合うことが有効です。

我々は育つ過程で、幼かったがゆえに親や社会の影響を受けた現在の価値観をほぼ無批判に身につけ、それに基づいた反応や行動を自動的に繰り返してきました。

一度立ち止まって、自分はどんな価値観を持っているのか、それは何時から、どのような理由で持っているのか、それは有効だったのか等を見つめることは重要です。そして、本当は何をしたいのか、どうありたいのか、を深く考えることで価値観が再構築されます。

このように一人ひとりが自身と向き合えるようなきっかけや仕組みを社会の中に散りばめることを目指します。

長岡は震災や災害で、目に見えるモノの多くは失いましたが、精神(心)を大切に復興してきました。心の時代と言われる21世紀は、長岡が躍進しなければならないと思うのです。



ここが問題 // 長岡市の原発政策



Q 福島原発事故以降、長岡市にかかわることで変わったことは何？

A 柏崎刈羽原発の30km圏内に大部分が入る長岡市は、立地自治体と同様にリスクがあるから、事故に備えて避難計画を作る義務が生じたよ。



Q 原発は絶対安全なの？ 避難計画は？

A 国の原子力規制委員会は「新規規制基準に適合しているかを判断するので絶対の安全を保障するものではない」「避難計画の実効性は審査しない」と言っているよ。



Q 長岡市は原発の再稼働に「NO」と言えるの？

A 国は「地元同意を得て再稼働」と言っているけど、どこまでが「地元」の範囲かは決めていないんだ。だから長岡は、再稼働にイエスやノーと言う権限を持っていないよ。



Q おかしな状況じゃない？

A その通りだと思うよ。茨城県では東海第2原発の隣接・隣々接の自治体が再稼働の事前了解権を含む協定を電力事業者と締結したから、長岡市も同じような仕組みを作る必要があるね。でも、長岡市はそのような協定を求めているんだ。



長岡市の状況



茨城県の状況



関たかしの主張

避難計画の策定義務を背負わされる以上、長岡市も茨城県のような再稼働の事前同意権を含む協定を東京電力と締結すべき

関たかしの実績 (一部)

関たかしが関与した活動のなかから、一部を選んでお知らせします。

政治改革

- ◆ 会派無所属
- ◆ 議員権限・議員特権の適正化
政務活動費の返納 (20年間で15回の返納。使途の適正化)
議員の海外視察の中止
海外交流の抑制 **NEW**

環境分野

- ◆ 長岡市環境基本計画の改訂
- ◆ 学校での環境対策
学校給食の地産地消化、紫外線対策、食器・床ワックス・トイレ
消臭剤の切替、薬剤散布の低減、校内禁煙、環境共生学校への取
り組み、緑のカーテン
- ◆ 新エネルギーの導入
- ◆ 市内における農業を含む化学物質の
使用量低減 (例: 街路樹に使用する農薬が1/10) **NEW**
- ◆ 住宅地での農業使用低減の周知を強化
- ◆ 自転車通行帯の整備 **NEW**
- ◆ バスの利便性向上 バス停に屋根を架ける
- ◆ 立地適正化計画(コンパクトシティ)の策定 **NEW**

心と教育 の分野

- ◆ 教育への取り組み
子どもの自己肯定感を高めるために、大人の自己肯定感を高める
必要があると、教育委員会も認識。危機感を持たせても不安感
を持たせない、子どもたちへの安全指導。
- ◆ 子育て支援の充実
親への子育て支援+子どものための子育て支援
- ◆ 部活動におけるパワハラ・モラハラ対策 **NEW**
- ◆ 自己理解型研修による教員と市役所職員の意識改革
- ◆ 市役所職員からファシリテーターを養成

財政分野

- ◆ 健全財政の堅持
- ◆ 橋の長寿命化対策
- ◆ 公共施設の削減

災害関連 分野

- ◆ 災害時の情報提供の迅速化
- ◆ 道路冠水時の通行止め対策
- ◆ 雨水一時貯留槽の設置
- ◆ 道路排雪の効率化

その他

- ◆ 長岡市総合計画の改訂
- ◆ 市民からの要望や苦情への対応強化

具体的な取り組み

新しい価値観による、新しい街づくりを目指し、私「関たかし」は市政を通じて、主にこれらの事に取り組めます。

政治改革

公平公正な 市政

- ▶ 特定の者だけが利益を得る市政を改善
- ▶ 利益誘導政治でなく、理念や政策を訴える政治へ

議会改革

- ▶ 政務活動費等の議員権限の適正化

環境分野

原 発

- ▶ (詳細は裏面をご覧ください。)

交 通

- ▶ 公共交通の充実や自転車道整備。等

化学物質

- ▶ 安全性が疑われる化学物質を減らします。

低炭素社会

- ▶ 市内からの温暖化ガス(二酸化炭素など)を削減。

財政・経済分野

地消地産

- ▶ 生活の基本である「衣・食・住・エネルギー」をできるだけ地元で生産。
- ▶ 地域でモノとお金をまわす。

コンパクト シティ

- ▶ 維持費のかからない都市で、高齢化や地球温暖化にも対応できる

心と教育の分野

教育を変革

- ▶ 「教育基本法第1条(教育の目的)教育は、人格の完成を目指し…」の実践
- ▶ 子どもの自己肯定感の向上と、そのために子どもを取りまく大人たちの自己肯定感の向上

行政を変革

- ▶ 自身を見つめる自己理解型研修を通しての風土改革

子育て

- ▶ 子育て支援から子育て支援へ